



株式会社 テルナイト

# テルフロー ソイル

(ソイル流体用流動性改善・分散剤)

## はじめに

近年、安定液工法での掘削の他に TRD 工法をはじめとしたソイル工法による掘削が多くなりつつあります。

臨海地の工事では、ソイル流体自体もセメントによる汚染の他に、海水の影響による塩分や地下水中に存在する陽イオン類の混入により、ソイル流体の流動性を維持できなかつたり、シルト・粘土層掘削時には、流動性の維持の為に多量の安定液を注入しソイル流体の流動性を維持・管理して来ました。その結果として、多量の排液を搬出していました。

テルフローソイルは、ソイル工法での掘削の際、ソイル流体の流動性の改善や、シルト・粘土層掘削時の分散剤として研究・開発された分散剤です。

テルフローソイルは単一で広範囲に使用出来るように、より優れた分散機能を付加させたもので、さまざまな陽イオンによる汚染やシルト・粘土層掘削に対応しソイル流体の流動性を改善させることが出来ます。

## 特徴

- (1) 地層中の塩分や海水の混入により高濃度に汚染された土質の掘削の際にも、少ない添加量でソイル流体の流動性を改善できます。
- (2) 比重の高いソイル流体も少ない添加量で流動性の改善できます。
- (3) シルト・粘土層掘削時は、テルフローソイルを使用する事で安定液の注入率の低減と排泥率を減少させます。
- (4) ゲル化したソイル流体を、短時間で分散させることが出来ます。
- (5) テルフローソイルを添加したソイル流体にセメントを加えた場合、ゲルの発生を低減する効果があります。

## 使用方法

作液した安定液にテルフローソイルを添加し、注入・攪拌してソイル流体の流動性を管理して下さい。直接ソイル流体に投入する場合は、十分に攪拌できる場所に投入して下さい。テルフローソイルは分散性が高いので多量に添加した場合は急激な流動性の変化が生じますので、必要以上の添加は避けて下さい。

### テルフローソイルの一般的な添加量

- |            |            |
|------------|------------|
| 1) 砂礫層     | 0.1 ~ 0.5% |
| 2) 砂・シルト層  | 0.5 ~ 1.0% |
| 3) 粘土・シルト層 | 1.0 ~ 2.0% |

\*テルフローソイルを経済的に使用するためにも、事前に添加試験を実施することを推奨します。

## 性状、および荷姿

外観：淡黄色透明の液体

pH：7.0 ~ 9.0

比重：1.30 ~ 1.35

荷姿：20kg 缶 / 1.25トンコンテナ

## 取扱い上の注意

- (1) 密封して保管して下さい。
- (2) 本品が眼に入った時には、直ちに水道水で洗い流して下さい。
- (3) 本品を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けている産業廃棄物処理業者に依託して下さい。

株式会社 テルナイト

本社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-2-3

Daiwa神保町3丁目ビル5階

TEL 03-5843-0009 FAX 03-3221-5061